



坂井 音重
SAKAI Otoshige



観世銚之丞
KANZE Tetsunojo



木月 孚行
KIZUKI Takayuki

DEIGAN
泥眼 (江戸時代)



観世会定期能 十二月

平成28年 12月4日(日)

SUN., DEC. 4, 2016

午後12時30分開場 午後1時開演

Open 12:30 Start 13:00

梅若能楽学院会館

UMEWAKA NOH THEATER

料金(税込) *全席指定 Price (Including Tax, All Seats Reserved)

S指定席 12,500円 A指定席 9,000円 B指定席 7,000円

学生席(B指定席) 4,200円 (Student Seats)

*当日空席が出た場合、「遊行柳」終演後よりご入場いただける
ハッピーアワーチケットを午後4時30分より販売いたします。

一般 3,000円 学生 1,500円

チケット予約・お問い合わせ

観世会 TEL:03-5778-4380

観世ネット www.kanze.net (ネットで予約、コンビニ発券)

チケットぴあ TEL:0570-02-9999 URL:pia.jp/t

Pコード:447-694

葵

AOINOUE Azusanode

上

梓之出

木月

孚行

KIZUKI Takayuki

遊行柳

青柳之舞
朽木留

観世銚之丞

YUGIYONANAGI Aoyaginonami
Kuchikidome

KANZE Tetsunojo

俊寛

SHUNKAN

坂井 音重

SAKAI Otoshige



【曲目・出演者】

能 俊 寛

俊 寛	坂井 音重	笛	一噌 庸二
平判官	大松 洋一	小 鼓	幸 清次郎
入道康頼	藤波 重孝	大 鼓	佃 良勝
舟渡少将成経	福王 和幸		
赦免使	山本 則孝		
給 頭	武田 尚浩		
後 見	武田 志房		
地 頭			

能 狂言 文 荷

太郎冠者	山本泰太郎
主	山本凜太郎
次郎冠者	山本 則孝

(休憩 20分)

能 遊 行 柳 青柳之舞 朽木留

尉老柳ノ精	観世鍔之丞	笛	藤田六郎兵衛
遊行上人	森 常好	小 鼓	大倉源次郎
所ノ者	山本 則秀	大 鼓	國川 純
後 見	野村 四郎	太 鼓	観世 元伯
地 頭	観世 清和		

午後4時50分頃(休憩15分) これよりハッピーアワー

能 葵 上 梓之出

六条御息所生霊	木月 孚行	笛	藤田 貴寛
巫 女	武田 文志	小 鼓	曾和 正博
横川小聖	野口 能弘	大 鼓	亀井 実
下 人	山本凜太郎	太 鼓	三島元太郎
後 見	観世 恭秀		
地 頭	岡 久広		

附 祝 言

(終了予定 午後6時)

- 都合により、曲目・出演者に変更のある場合がございます。
- 演能中の見所への入退場につきましては、制限させていただく場合がございます。

ハッピーアワーチケットのご案内

当日空席が出た場合、「遊行柳」終演後よりご入場いただける、ハッピーアワーチケットを午後4時30分より販売いたします。
(一般3,000円、学生1,500円)

チケット発売

会場販売 10月2日(日)
電話・インターネット 10月4日(火)

※観世会主催公演の開催日以外は、会場販売は行っておりませんのでご注意ください。

【あらすじ】

能 俊 寛 (しゅんかん)

平家打倒の謀議が発覚し、絶海の孤島・鬼界が島に流された俊寛・康頼・成経のもとに恩赦を伝える赦免使が訪れる。しかし俊寛だけが許されず、島に一人残される。怒りと絶望に打ち震える俊寛だが、寂しく舟影を見送る。

狂言 文 荷 (ふみにない)

主人の恋文を届けるよう命じられた太郎冠者と次郎冠者は、初めは文を交代で持つが、やがて竹竿に結びつけて二人で担っていく。そのうち文を見てみたくなった二人は奪い合っているうちに、文を引き裂いてしまい・・・。

能 遊行柳 青柳之舞 朽木留

(ゆきょうやなぎ あおやぎのまい くちきどめ)
遊行上人は、陸奥・白河の関の辺りで出会った老人に、「朽木の柳」という名木に案内される。老人は、かつて西行がこの名木を歌に詠んだ故事を語り、柳の陰に消える。やがて老柳の精が現れ、柳にまつわる和漢の故事を引き、上人の念仏に報酬の舞を舞う。

能 葵 上 梓之出

(あおいのうえ あずさので)
病に伏した葵上の病因を知るために照日の巫女に占わせると、梓の弓の音に引かれて六条御息所の生霊が現れ、光源氏への思いを述べ、葵上を責める。横川小聖の祈禱の前に鬼性を現した御息所は、小聖に立ち向かうが、やがて調伏され、成仏をとげる。

【表紙の能面】

泥眼 (ていがん)

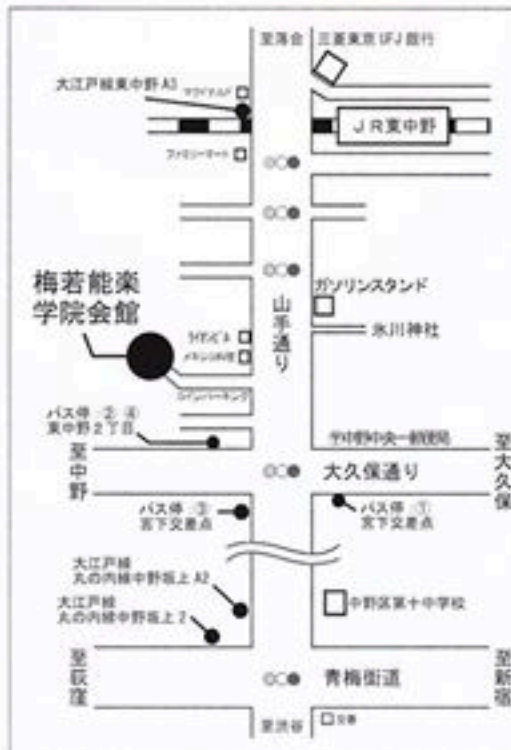
白目にあたる部分に金泥が施されていることからその名が生まれた。舞台上で面を切ることによって、鋭い印象的な光が目元に宿る。作者の河内は「河内彩色」の異名を持つ彩色の名人で、顔から顔にかけて青白い緑青の吹いたような色が凄惨な美を加えている。江戸時代。

【梅若能楽学院会館ご案内】



- ※場内での撮影・録音は固くお断り致します。
- ※館内の空調は一定温度に保っておりますが、お席によっては冷暖房の温度差がございます。
- ※食堂の営業はございません。

能楽はユネスコ第一回世界無形遺産に認定されております



梅若能楽学院会館

〒164-0003 東京都中野区東中野2-6-14
tel: 03-3363-7748 fax: 03-3363-7749

- <JR線>
・総武線・東中野駅西口 徒歩8分
- <地下鉄>
・大江戸線 東中野駅 A3出口
・大江戸線 中野坂上駅 A2・2出口
・丸の内線 中野坂上駅 A2・2出口
いずれも徒歩8分
- <バス>
①関東バス(宿05:中野駅経由)
新宿西口一野方行 宮下交差点下車
②関東バス(宿05:中野駅経由)
野方一新宿西口行 東中野2丁目下車
③京王バス(渋64:中野坂上経由)
渋谷一中野駅南口行 宮下交差点下車
④京王バス(渋64:中野坂上経由)
中野南口→渋谷行 東中野2丁目下車
・駐車場はございません。
ご来場の際は電車、バス等をご利用下さい。

香り高く、コク深い。

調理例

ザカリー
ハウス THE CURRY

House